

火災発生！ 初期対応の3原則

出火に居合わせたら、「通報」「初期消火」「避難」の順に行動することが基本です。しかし、状況によっては優先順位が異なりますので、逃げ遅れないように冷静な判断を心掛けましょう。

① 大声で知らせる！

- 「火事だ！」と大声で叫び、隣近所に知らせる。声が出ない場合は、非常ベルを鳴らすか、物を叩くなどして異変を知らせる。
- 小さな火でも119番に通報する。当事者は消火にあたり、近くの人に通報を頼む。

② 初期消火する！

- 水や消火器だけで消そうと思わず、座布団で火を叩くなど手近なものを最大限に活用する。
- 火が小さいうちは消火可能ですが、火が天井にまで燃え移っていたら消火を諦める。

③ 早く逃げる！

- 避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を遮断する。
- 煙を吸い込まないように、一気に走りぬける。

安全に避難する7つのポイント

初期消火限界

1 天井に火が燃え移ったら、すぐ避難。

優先順位

2 高齢者、子ども、病人を優先。

命が大切

3 服装などにこだわらず、できるだけ早く避難。

有毒ガス

4 ためらいは禁物。一気に走り抜ける。

低い姿勢

5 煙の中を逃げるときは、できるだけ姿勢を低く。

死亡危険大

6 いったん逃げ出したら、再び中には戻らない。

命が大切

7 逃げ遅れた人がいたら、消防隊にすぐ知らせる。